

環日本海地域をリードする「環境先端県」を目指して

～持続可能な地域づくりに向けた取組み～

1 はじめに

現在、私たちは、都市・生活型公害や廃棄物による環境負荷の増大から、待ったなしの状況にある地球温暖化を始め、黄砂や酸性雨、漂着ごみなどの国境を越えて影響を及ぼす地球規模の問題まで、広範囲に及ぶ環境問題に直面しています。当然、富山県もその例外ではありませんが、本県では、産業公害を克服してきた経験とその中で培われた県民の高い環境意識のもと、数々の環境問題に果敢に取り組んでいます。

この特集では、富山県が県民の皆さんと力を合わせて取り組んでいる施策のうち、23年度の取組みを紹介します。

2 自然環境の保全

富山県は本州一の植生自然度を誇り、多様な生き物が生息生育する豊かな生態系を有する一方、野生動物による農作物などへの被害が発生しており、人と野生動物との共生が課題となっています。

○第10回世界自然・野生生物映像祭の開催支援

地球環境保全への理解と関心を深める契機となるよう、23年8月に開催された「第10回世界自然・野生生物映像祭」を支援しました。

○僧ヶ岳県立自然公園の新規指定

貴重な自然環境の保全や適正な利用を図るため、23年9月に県内6番目、県立自然公園としては36年ぶりとなる新規指定を行いました。



第10回世界自然・野生生物映像祭



僧ヶ岳

3 生活環境の保全

大気や水質等の環境基準の達成状況をみると、概ね良好な状況ですが、富山湾の水質環境基準達成率に変動がみられます。

また、本県に様々な恵みをもたらす日本海の環境保全に向けて、国連環境計画が北西太平洋地域海行動計画を推進しており、沿岸諸国が連携協力して取組みを行っています。

○「とやまスターウォッチング～美しい星空をめざして～」の展開

空気のきれいさや街の明かりなどについて考え、身近な環境保全活動の実践につなげるため、県内各地での星空観察を推進します。

○環境放射能調査体制の拡充

大気中の放射線量を測定するモニタリングポストや各種の環境試料に含まれる放射性物質を分析する装置を増設し、調査体制を強化します。

○環日本海市民・環境教育学習推進事業

環日本海地域の環境保全活動に参加していただく「環日本海・環境サポーター」を募集するとともに、サポーター向けの出前講座などを行います。



とやまスターウォッチング星空観察会



「環日本海・環境サポーター」キックオフイベント

4 循環型・脱温暖化社会の構築

市町村及び事業者の取組みによって廃棄物のリサイクル等は進んでおり、リサイクル率は緩やかな上昇傾向にあるほか、埋立処分量は減少傾向にあります。また、平成20年度の温室効果ガス排出量は、2年度と比べ17.6%増加しており、特に増加が著しい家庭及び業務部門での対策強化が課題となっています。

ごみや二酸化炭素を極力出さないエコライフを推進するため、県民団体や事業者などが参加する「環境とやま県民会議」が、レジ袋削減など県民総ぐるみの取組みを進めています。

○エコ・クッキング普及・拡大事業

環境に配慮した「買い物」、「料理」、「片付け」を行う『エコ・クッキング』の普及・拡大を図るため、講習会の開催やインストラクターの派遣を行います。

○地球温暖化対策の推進

家庭や中小企業における省エネ設備導入に対して助成するとともに、庄発電所（仮称）の建設に着手するなど、本県の豊富な水力を活かし、小水力発電の導入を促進しています。



買い物



料理



片付け

エコ・クッキング

○民間団体と連携した環境保全活動・環境教育の推進

率先的に環境保全活動を実施するスポーツ団体と連携し、試合会場でのマイ箸運動や清掃活動などを通じたエコライフの普及を行いました。

また、中高生向けの環境教育プログラムの充実及び環境教育団体とのネットワークづくりを図るため、民間団体と連携し、体験・参加型環境講座「とやまスーパーエコ塾」を8月に開催しました。



とやまスーパーエコ塾

5 水資源の保全と活用

地域用水機能の保全や水文化に関する活動など水資源の保全・活用の取組みが着実に増加しています。

県内平野部においては適正揚水量が確保されている状況ですが、消雪のための地下水の利用の増加により、一時的に地下水位の大幅な低下がみられます。

○海岸等の美化活動

沿岸、上流エリアの市町村や関係団体等と連携して海岸等の美化活動を行う「みんなできれいにせんまいけ大作戦」を6～9月に展開しました。



「みんなできれいにせんまいけ大作戦」

○地下水の保全

県内平野部における地下水揚水量の実態把握や消雪設備管理者への節水の助言、冬期間の適正揚水量に関する調査研究を行います。

6 おわりに

これまでの環境保全施策に一定の進展が見られる一方で、地球温暖化や資源枯渇、生物多様性の損失など地球規模での環境問題が深刻化しています。今後、世界の国や地域が力を合わせて、地球生態系と共生した持続的に成長・発展する経済社会の実現が必要です。

富山県は、これからも、県民の皆さんと力を合わせて、一人ひとりが地球環境問題を自分の問題として捉え、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、温室効果ガス排出量の削減、資源循環、自然共生など持続可能な地域づくりに果敢に取り組む社会～「環境先端県」～の実現を目指して取り組んでまいります。

環境月間ポスター 富山県知事賞 (最優秀賞)

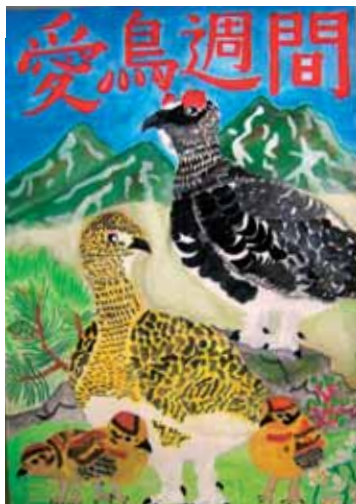


小学生の部 砺波市立出町小学校 6年 堀越 あゆさん



中学生の部 小矢部市立津沢中学校 3年 嶋田 裕哉さん

愛鳥に関するポスター 富山県知事賞



小学生の部 小矢部市立石動小学校 6年 西 航大さん

中学生の部

上市町立上市中学校 3年 柳瀬 真由さん



高校生の部 富山第一高等学校 3年 荒関 葵さん